

農林水産大臣賞

たかくま

高隈地区コミュニティ協議会（鹿児島県 鹿屋市）

かのや

世代を問わず多くの人を巻き込みながら幅広く活動を発展させ、様々な課題を共助という形で解決

1. 地区の概要

高隈地区は大隅半島の鹿屋市中央部、大麓柄岳^{おおのがら}を主峰とする高隈連山の麓にある農山村地区で、高隈山系の冷たく清純な水を利用した稲作のほか、笠野原台地の畑作地帯では甘しょ、ごぼう、茶等、多種多様な農産物が栽培されている。また、棚田の景観や300年以上続く^{かき}鉤引き祭り等、地域資源や伝統文化が継承されている。

2. 団体の概要

協議会は、自治会や学校、消防、企業等65団体で、4部会(まちづくり部会、事業部会、生活安心部会、スポーツ部会)を構成し、「高隈の恵みを活かし、人々が集う郷づくり」を将来像に掲げて、地域の課題解決や活性化等に幅広く取り組んでいる。

3. 団体の取組み

休耕田を再生して、「たかくまコミュニティ米(高隈米)」を生産・販売、自主財源を確保するとともに、鹿女短大との連携協定により高隈米のブランド力向上を展開。休耕田は、小中学生の田植え行事やスポーツ大会開催等、食農教育や住民交流の場としても活用。

都市住民との交流の一環として、地域資源や食材を活用したツアーを企画し、復活させた山菜弁当をツアー観光客に提供。農業生産法人と連携し、規格外品を加工用原料として買い取る仕組みを構築し、地区内農家の所得が向上。

ささえあいマップ作成による見守り体制、ドライブサロン事業による買い物支援と安否確認等、不便を感じる独居高齢者の健康状態の確認や生きがいづくりを、地域全体で見守る仕組みを構築。

地域の困りごとを地域で解決するため、有志により、有償ボランティア組織、「おたすけ隊『あったかくマン』」を創設。大工仕事や庭仕事、買い物支援等、住民の困りごとを支援する仕組みを構築。



田植え行事とたかくまコミュニティ米



農業法人との連携



あったかくマン活動風景